

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年6月29日
【事業年度】	第141期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	オリンパス株式会社
【英訳名】	OLYMPUS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 笹 宏行
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号
【電話番号】	東京3340局2111番(代表)
【事務連絡者氏名】	総務部長 新本 政秀
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モノリス
【電話番号】	東京3340局2111番(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 大西 伸幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、当社の連結子会社であるOlympus Korea Co., Ltd.の元代表理事による違法な職務行為を契機として、グループ内の役員に関する全般的な調査を実施しました。その調査の一環として当社の役員に関する取引について、当社の全ての子会社に対する調査を実施いたしました。

その調査の過程において、当社の連結子会社であるKeyMed (Medical & Industrial Equipment) Ltd.より、平成20年9月から平成23年10月までの期間において、同社と同社元取締役会長（当社元代表取締役・社長執行役員）であるマイケル・シー・ウッドフォード氏との間で金銭消費貸借取引があった旨の報告がありました。この報告内容に基づき、当社において同社の現経営者へのインタビューを含む当該取引内容の精査を実施したところ、これらの取引が関連当事者取引に該当することが判明いたしました。

これを受けて、当社は、平成23年12月14日及び平成23年12月26日に提出いたしました第141期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の訂正報告書の記載事項を訂正するため、改めて有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

関連当事者情報

3【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しております。

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

【関連当事者情報】

(訂正前)

前連結会計年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

当連結会計年度より、「関連当事者の開示に関する会計基準」(企業会計基準第11号 平成18年10月17日)及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第13号 平成18年10月17日)を適用しています。

なお、これによる開示対象範囲の変更はありません。

(訂正後)

前連結会計年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
役員及びその近親者	マイケル・シー・ウッドフォード	—	—	当社 執行役員 KeyMed(Medical & Industrial Equipment) Ltd. 取締役会長	—	金銭の貸付	金銭の貸付(注2)	174	—	—

(注) 1 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれていません。

2 当該貸付は当社の連結子会社であるKeyMed(Medical & Industrial Equipment) Ltd.からの貸付であります。

3 金銭の貸付については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しています。

(追加情報)

当連結会計年度より、「関連当事者の開示に関する会計基準」(企業会計基準第11号 平成18年10月17日)及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第13号 平成18年10月17日)を適用しています。